

単純ヘルペスウイルス(HSV)を利用した癌のウイルス療法が進展してきた。変異HSVの「HF10」を用いた臨床研究では、治療薬の乏しい膵癌に対し、生存日数を180日以上延長させる結果も得られていることが、日本癌学会で報告された。

第67回日本癌学会

(10月28日、名古屋)

単純ヘルペスウイルスなどの癌溶解性ウイルスは、強い細胞変性作用を持ち、経時的に癌細胞を破壊しながら増殖する。特にHSVは、ヒトのほぼあらゆる種類の細胞に対して感染可能なことなどから、様々な変異HSVを利用した臨床研究が、世界的に進められてきた。

ただ、弱毒化を図るために、中枢神経病原

「がん対策推進基本計画」では、全体目標として、10年以内に「癌による死亡者の減少(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)」と、「全ての癌患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上」を掲げている。従来の治療を主とした診療に加え、治療の初期段階からの緩和ケア実施が盛り込まれた。

第2回日本緩和医療薬学会年会

(10月18日、横浜)

この動きに呼応するように、薬剤師の立場から発足したのが日本緩和医療薬学会。

学会では独自の認定制度として「緩和薬物療法認定薬剤師」制度を立ち上げた。緩和医療の精神や薬物治療に詳しく、医療チームとして患者治療に資する薬剤師を育成しようというもので、2010年1月からは認定試験を実施することも決定した。

年会では、在宅ケアで重要な位置を占めている、モルヒネなど医療用麻薬の適正使用などをめぐって、保険薬局薬剤師が果たすべき役割について、多くの報告が行われた。海外に比べ、日本では入院患者でもモルヒネによる疼痛療法が進んでおらず、外来患者ではさらに低い。末期癌での疼痛管理はQOLを維持する上で欠かせないものだが、在宅ケア体制なども十分でなく、保険薬局薬剤師の積極的な関与が期待された。

性に関連した遺伝子を不活化した変異株などを用いた臨床研究では、安全性は得られたものの、抗腫瘍効果も弱く、期待されたほどの成果は得られていなかった。

用いられた「HF10」は、自然発生的な変異HSVで、変異の安定性が高く、毒性も弱い。それに、正常細胞がウイルスを排除するための機構として持っているプロテインキナーゼR(PKR)の阻害に働く、ウイルスの遺伝子産物領域も欠けている。そのため、癌遺伝子のRasなどが変異して、PKR活性が阻害されている癌細胞に選択的に感染し、正常細胞には感染しにくい特徴がある。

学会では、粕谷英樹氏(名古屋大学医学部消化器外科)から、「HF10」を用いた臨床研究の成果が発表された。切除が困難な膵癌患者を対象とした検討では、6例中5例で生存が得られ、特に3例の患者は180日以上生存した。また、膵癌の特異的マーカーである



CA19-9が急激に低下することも確認された。そのほか、乳癌や頭頸部癌でも有効性が得られている。

癌のウイルス療法では、腫瘍免疫系の賦活化も期待されており、今後「HF10」に、GM-CSFなどのサイトカインをはじめ、プロドラッグの活性化酵素遺伝子を組み込み、腫瘍溶解活性や腫瘍免疫をさらに高めることが考えられている。

学会ニュースクリップ

スタンスがとられていることから、JSH2009でもその考え方が導入された形だ。さらに、軽度高血圧をI度高血圧、中等度高血圧をII度高血圧、重度高血圧をIII度高血圧と名称変更した。

また、血圧以外のリスク因子として、糖尿病や慢性腎疾患などに加え、メタボリックシンドロームも組み込まれた。これらの保有状況により、リスクを①低リスク②中等リスク③高リスク——に層別化し、それに合わせた降圧療法を示した。

低リスクでは3カ月以内、中等リスクでは1カ月以内の生活指導で130/80mmHg未満を達成できない場合には降圧療法、高リスクでは直ちに降圧療法を実施することが推奨された。

特に、正常高値血圧であっても、糖尿病や慢性腎疾患などを発症している場合には「高リスク」、メタボリックシンドロームと診断されている場合には、1カ月の生活指導で140/90mmHg未満を維持できなければ、降圧薬による治療を実施する「中等リスク」と設定された。

最終案を発表した今井潤氏(東北大病院臨床治療センター)は「糖尿病や慢性腎疾患などの疾患自体が、(心血管疾患発症の)高リスク因子となり得る」とし、正常高値血圧でも、直ちに薬物療法を実施すべきとした。



高血圧治療ガイドライン2009(JSH2009)の最終案が、昨年10月に札幌で開かれた日本高血圧学会で発表された。最終案では、リスク層別化と高血圧管理計画の一致をはじめ、130/85mmHg未満を軸とした厳格な降圧目標の設定や、高齢者の降圧目標を140/90mmHg未満と設定すること、さらに、メタボリックシンドロームなどの臓器障害や他疾患を合併する高血圧の重要性を強調したことが特徴。

第31回日本高血圧学会

(10月9日、札幌)

具体的には、新たなリスク分類の評価に、「正常高値血圧」を追加し、その血圧閾値を「130/85mmHg以上」とした。欧州の高血圧治療ガイドライン「ESH-ESH2007」でも、正常高値血圧であってもリスクファクターが重複していれば治療を開始すべきとの

薬学生の就職活動なら **やくたま** におまかせ!

やくたまとは? 学生の皆様へ

やくたまのサービスは、**FAQ**でご説明頂けます

▶ 就活サポートサービスに新規登録する

ウェルシア関東(株) 給与 教育体制 福利厚生 働きやすさ

新卒初任給 業界最高クラス!

「ドラッグ&調剤」をキーワードに、地域の人々との美と健康を支えています。イオングループのドラッグストア連合ならではの充実した研修制度に加え、業界内でも最高水準の給与、会社規模から考えられないほどの社内の風通しの良さが魅力です。→詳しくみる

調剤薬局 本社:大府 勤務地域:全国

店舗の従業員一人一人が作る会社 店舗の従業員一人一人が作る会社を目標

オススメ企業

ウエルシア関東株式会社 関東・山梨・新潟 小売流通業界全体で圏域を続けるイオングループの強み

welcia ウエルシア関東株式会社

寺島薬局株式会社 茨城・福島・栃木・長野 介護事業にも積極的に取り組む。茨城県最大のドラッグストアチェーン

寺島薬局株式会社

薬学生の就職活動なら **やくたま** におまかせ!

「やくたま」は、薬学生のための「就活サポートサイト」です。調剤薬局・病院・ドラッグストアなど、あなたにぴったりの職場が見つかります!!

ご登録はホームページから **www.yakutama.com**

やくたま 検索

お問い合わせ **0120-86-9320** (受付時間 平日 9:00~18:00)

携帯電話からも登録OK! **かんたん入力 1分で登録!**

薬剤専門の人材紹介会社 **株式会社ヒューマンサポート** 〒106-0032 東京都港区六本木 3-16-13 厚生労働大臣許可 13-04-ユ-0584